

素晴らしい若者たち

笑顔であいさつ、人に優しく…

建学の精神「感恩」

人はみな有形無形の数々の恩恵を享受し、今の自分がある。この偉大なほからいに目覚め、深い感動と感謝の念から発する豊かな心と情熱をもって、人の幸せを願う行動するとき、われわれは社会に貢献することができる。

「ありがとう」に出会い気づき、感動・感謝の行動から、また新しい「ありがとう」が生み出されていく。

謹賀新年

豊かな大自然を
未来へつなぐ

学生・生徒・園児、保護者そして教職員のみなさま、新年明けましておめでとうございます。みなさまの卯年2011年が、夢に近づく素晴らしい1年にな

まもなく平成24年(2012)
学園創立
70周年



理事長 江端 源治

りますようお願い申し上げます。

昨夏は酷暑、昔は気温が30℃を超えることなど稀でした。大自然の異変をますます身近に感じます。人類は不可能を可能に、夢を現実に、神秘を理論にしてきました。そして我々は今や母なる地球に重大な影響を及ぼし得る存在になっています。

学園の私たちもできることがあります。地球に優しく、という意識を持ち、できることを続けていきましょう。その一つがウォームビズです。私たちに豊かな大自然、美しい地球を守る責務があります。未来社会の仲間たち、万物のために。

建学の精神「感恩」

自分流の「感恩」を

私たちの学園のすべての教育

活動のベースは建学の精神「感恩」であり、学園の特長そして誇りです。解釈文の丸暗記ではなく自分の感性で体得するものです。

多くの「ありがとう」に出会い気づき、その感謝・感動からまた新しい「ありがとう」が生み出される。この当たり前のことを大切に、ぜひ自分流の感性・思いで「感恩」を実践、人の幸せを願う豊かな心で行動し、一人でも多くの人に喜びをもたらす、そして自分も幸せになります。

トイレの神様がヒット

胸を熱くする、

素晴らしい若者たち

「トイレの神様」という曲を私は何度も聴きました。どこに

もある、おばあちゃんと孫娘の毎日を、飾らず優しく唄っています。おばあちゃんへの愛情と感謝の思いを素直にありのままに語る詩に心が和みます。この曲に共鳴、胸を熱くする若者たちもまた素晴らしいと思います。

夢を持ち、笑い、
元気にあいさつし、
人に優しくできれば…

本来、若者・人は心に響く素晴らしい感性、能力を持っています。それをいつも忘れず見失わず、大切に大きく育んでいきたい、もっともっと輝き伸びてほしい。そのお手伝いをするのが我々教育人の使命です。責任重大ですが、なんとやりがいのある仕事でしょう。

高い志(夢)を持ち、笑い、

元気にあいさつし、人に優しくできれば周りも自分も心が安らぎ、「ありがとう」が生まれます。この「当たり前」のことが豊かな心、人格の原点であると思います。（いまの自分は、はたしてどうだろうか？）若者だけではなく、いくつになってもいつまでもそうありたいと願います。

昨夏の論文コンクールのテーマは「笑顔」、最優秀者は「誰でも使える魔法」というタイトルをつけました。また先日、あるお客様が「学生さんが、こんにちは」と挨拶してくれました、とても爽やかないい気分になりました。」と言ってくれました。素晴らしく、うれしいことです。

学生・生徒・園児たちの笑顔やあいさつで、みんなが爽やかに元気になれたら素晴らしい、そんな学園をつくりあげていきましよう。照れながらもいい笑顔で元気に「こんにちは」！

幸せの願いが込められた Veggie食べるレシピ集

第2回たっぷりVeggie食べるコンクールで福祉栄養学科の学生たちが、野菜を美味しく楽しく手軽にいただけるアイデア料理をたくさん考案してくれました。そのレシピ集には「人

の幸せを願う、食への思い」がつまっています。学生たちは学園の「食の質」向上に貢献し、大学の使命を立派に果たしています。学生のみなさん「ありがとうー！君たちの発想力は実に豊かで斬新そして無限です。

3学部5学科の大学へ 「保健医療学部」設置認可

今春（H23.4）に3つ目の学部がスタートします。建学の精神「感恩」を体し、人に優しくハビリテーション®を実践し、一人でも多くの人に希望・元気をもたらす人材を育成し、社会に愛され必要とされる学園でありたいと願っています。

夢に近づいて卒業を

もうすぐ卒業式です。一歩でも夢に近づいて元気に卒業してほしいと心から願っています。卒業生たちは、学園教職員の誇り、宝物です。

学園トピックス

短大の高木先生と鍵岡先生が

文部科学省から「短大教育功労者賞」を受賞されました

文部科学省による

「短期大学教育功労者」 表彰を受けて

保育科 教授 高木 信良

昭和46年に奉職して40年目を迎える年に短期大学教育60周年を記念して、教育功労表彰を受けることができました。平成4年から3ヶ年間学生課長兼寮監長、平成10年から平成20年の間に学生部長、保健科長、保育科長など各2年間様々な要職を歴任させていただきました。また、学外における活動において日本赤十字社の救急法などの指導ボランティア活動に対し、平成7年に銀色有功章、平成13年には金色有功章を頂き、平成19年には全国保育士養成協議会会長表彰を受けることができました。この

短大の高木先生と鍵岡先生が

文部科学省から「短大教育功労者賞」を受賞されました

関西女子短期大学で長きに渡り勤めることができましたのも一人の力ではなく、周りに居られた方々のご理解や様々な協力・援助の下で続けることができ幸いに存じます。長年にわたり私を支えてくださった方々に感謝申し上げます。

短期大学教育功労者賞 受章にあたって

保健科 教授 鍵岡正俊

この度、学園からの推薦をいただき、短期大学教育功労者賞を受章いたしました。この賞が、短期大学制度発足60周年を記念して、長年短大教育の発展に尽力してきた功績に対して贈られるものであると知り、当初、自分には過分の評価であると戸惑いました。しかし、これまで

ご指導いただいた諸先輩や共に仕事をした同僚諸氏とともに表彰を受けるのだと気持ちを切り替えて、その荣誉に浴することになりました。改めて皆様にご礼を申し上げます。ありがとうございます。ありがとうございました。

関西女子短期大学に奉職した昭和53年当時の最大の課題は、来るべき大学冬の時代にいかに備えるかということでした。18歳人口動態は、急上昇後、平成4年度を境に急降下。順風時に質的向上を図り、逆風時の量的縮小に耐えうる体力をつける、そのために数々の施策が打たれてまいりました。そして今、まさにその正念場を迎えています。今回の受章を機に改めて、短期大学の存続をかけて自らの使命を全うしたいと考えているところです。

大学の愛称「Fukka」について

入試広報部

関西福祉科学大学の新しい愛称「Fukka」（フッカ）はご存知ですか。以前から『福科大通信』でも使われていた「Fukka」という言葉を、大学の新しい愛称として、大学広報で使用するようになりました。

「Fukka」（フッカ）は、大学名のローマ字読み「福祉（FUKUSHI）」「科学（KAGAKU）」の頭の部分をつなげた造語で、ひよっとしたら在校生の皆さんも今までに、この愛称を使った経験があるのでないでしょうか。



関西福祉科学大学では、今後さらに大学名をわかりやすく覚えていただき、広く高校生の皆さんにもアピールしていこうという思いから、大学で発行する媒体（進学情報誌）や高校生対象の各種印刷物などでの使用を検討しています。

一番新しい印刷媒体では、社会福祉学科と臨床心理学科を紹介する『学科ニュース』（写真で紹介）でも使用いたしました。学園の皆さんも、いっしょに関西福祉科学大学の新しい愛称「Fukka」を盛り上げてくださいましょう。

メンタルヘルス研修会開催

安全衛生委員会事務局

平成22年12月2日、健康科学科の本岡寛子先生に講師をお願いし、メンタルヘルス研修会を学園本館の視聴覚教室で開催しました。

最近、仕事や職業生活に関する強い不安、悩み、ストレスを感じる労働者が増え、職場におけるメンタルヘルス対策が全国的に重要な課題となってきました。こうした観点をふまえ、働

く人自身がストレスに気づき、これに対処するセルフケア研修会を企画したところ、教職員合計65名の方に参加していただきました。

研修会は「メンタルヘルスケアとストレスマネジメントの基礎知識」というテーマで
1. メンタルヘルスケア対策の「4つのケア」
2. ストレスの基礎知識

3. ストレスマネジメントの基礎知識

4. ストレスマネジメントの力を育てるプログラム

について、わかりやすくお話をさせていただきました。こうした研修会は初めての試みでしたが、参加者全員が熱心に聞き入っていました。研修会終了後に実施したアンケートでは「今後もメンタルヘルスの研修会があったら受講したい」が86%、「研修会はストレス対処に役立つ」が75%と非常に好評で、メンタルヘルスケアに対する教職員皆様の関心の高さがうかがえました。

塾長対象入試説明会を終えて

—自分にもつづく、夢にもつづく。—

高等学校 入試広報部

去る9月30日本校記念講堂におきまして、平成23年度入試説明会を開催いたしました。

今年、全ての意志ある高校生等が勉学に打ち込める社会をつくるため、公立高等学校には授業料の無償化を、また国立・私立等の生徒には授業料に充てる高等学校等就学支援金が国により創設されました。
このような状況の中で、本校

としてのコンセプトを共通理解するために、4月より全校一丸となって会議を重ねてまいりました。結果、①大学・短大を併設する総合学園のメリットを最大限に生かす。②生徒一人ひとりが持っている進路目標を実現するための三コース制カリキュラムを実施。③教師の想いも、生徒にまっすぐに伝え、向き合える人間関係を大切にしたい。

という柱にそって、より内容を具体的に理解していただけるよう、それぞれのコース紹介を担当がして、それを受けてそのコースの生徒が想いを語る形式での設定となりました。生徒が発表の場で立往生してしまい、皆がひやひやした場面では、担任の優しいフォローに、本校の日頃の教育の一端を見た思いだと温かい感想も寄せていただいております。
教育の原点は、やはり先生と生徒の信頼関係があればこそ、であるという本校の教育の成果を確信した説明会でありました。

第2回柏原市民総合フェスティバルに参加

法人本部 田中俊治

9月19日(日)、素晴らしい秋

晴れのもと「第2回柏原市民総合フェスティバル」が大阪教育大学で開催されました。学園では昨年に引き続き多くの行事に参加しました。まず、午前中の体育祭では高校の男子陸上部が400Mリレーに出場し、教育大の学生チームと接戦をくりひろげました。体育祭のしめくりにには高校のなぎなた部6名が一糸みだれぬ演舞を披露し、集まった大勢の観客から盛大な拍手を受けました。

午後からは、ステージにおいて大学のダンスサークル、ダブルダッチサークルのダンス、ギター演奏、幼稚園園児のキッズダンス等を披露し会場は大いに盛り上がりました。

また、今回は学園ブースを設置し、各校園の案内や公開講座のパンフレットを配布しました。学園ブースには、市民の方や学園OBの方がたくさん立ち寄り、交流をはかることができてきました。

最後に当日は学園の大型バス2台とマイクロバス2台を提供し、終日観客を会場まで運びました。その結果、フェスティバルのスムーズな運営に協力することができ、柏原市から感謝の言葉をいただきました。

最後に当日は学園の大型バス2台とマイクロバス2台を提供し、終日観客を会場まで運びました。その結果、フェスティバルのスムーズな運営に協力することができ、柏原市から感謝の言葉をいただきました。



高校 陸上部



高校 なぎなた部



幼稚園 キッズダンス

健康・ウォークinかしわら

地域支援交流センター 奥田 洋

布し、こちらも大好評でした。

本学の所在地柏原市のまちづくりや市民の健康を考えるイベント「健康・ウォークinかしわら」が平成22年12月5日に開催されました。午前中のウォーキング、午後のフォーラム、展示イベントから構成され、最後は柏原市長による「健康ウォーク宣言」で締めくくられました。好天にも恵まれ、ウォーキングに107名、フォーラムに136名の参加がありました。本学は、実行委員会メンバーとして大阪教育大学やNPO法人まちプロとともに、企画から積極的に係わってきました。

当日は健康福祉学部福祉栄養学科を中心に教職員・学生が参加し、学科長が栄養の専門家としてフォーラム、パネルディスプレイ「栄養価クイズ」で教員・学生が栄養指導を行いました。食品模型にICチップを組み込んだSATシステムを使った展示は、大好評で、行列が絶えることとなり、約70人の相談を受けました。「たっぷりVeggie食べる料理コンテストおすすめレシピ集」も配



第7回美葉祭開催

学生支援センター

関西福祉科学大学・関西女子短期大学の合同大学祭「美葉祭」を、さる11月13日・14日の二日



間において開催しました。本年のテーマは「はーとふるー笑顔あふれる常笑祭」。参加する学生、訪れる人々、全ての人の笑顔があふれる大学祭にしたいという実行委員一同の思いが込められていました。

大学祭実行委員会構成員は58名。2回生の役員を中心に、思い描く大学祭を実施できるような4月より着実に準備を重ねてまいりました。彼らの努力に報いるかのように当日は快晴、暖かい日差しのもと開催することができました。

本年度はメイン会場を従来からの高校グラウンドから記念講堂に変更、例年とは異なる試みでしたが、大きな事故や混乱もなく、両日で約3400名(昨年度約3000名)の来場者がありました。出店の販売も早い時間に完売が続出するなど、活気のある大学祭となりました。

最後になりましたが、大学祭を開催するにあたり、学園内の各部門には多大なるご支援を賜りました。この場を拝借し、厚く御礼申し上げます。

大学における初年次教育の取り組みについて

教育開発支援センター長 八田武志



大学では、初年次教育について様々な検討がなされています。それらの取り組み内容を相互に理解し合う目的で、10月6日(水)に「2つの報告と全員による意見交換からなる「教育説明会」を行いました。

①教養教育の「根幹」と「学び」へのオリエンテーションとする基礎演習Ⅰ(全ての学科共通)・初年次教育プログラム項目)の取り組み、②多様化する学生を見据えた1年次教育の新たな取り組みについての報告を、担当している教員が行いました。

これらをふまえ、総合的な教育システムとして体系立てる必要性があることを問題意識として共有し、学士課程教育の理解のため3つのポリシー(学位授与の方針、教育課程の編成方針、求める学生像と受け入れ基本方針)のうち、とくに教育課程の編成方針への共通理解が急務であることが確認されました。

教育開発支援センターは、これからも教育力向上に資するための様々な機会を設定して行きたいと考えています。

新学部、新学科設置認可について

経営企画室

今春(平成23年4月)、関西福祉科学大学に「保健医療学部」、関西女子短期大学に「医療秘書学科」「医療秘書学専攻科」が誕生します。

学園第1期中長期計画(学園創立70周年記念事業)の一環として、関西医療技術専門学校理学療法学科、作業療法学科を関西福祉科学大学へ、診療情報管理学科、診療情報管理専攻科、介護福祉学科を関西女子短期大学へ発展的に移行する計画が平成20年11月理事会にて承認され、今春の開設に向け、準備を進めてまいりました。

大学では、これから始まる新時代のリハビリテーションに必要な知識・技術を持ち、建学の精神「感恩」を体し、人に優しいリハビリテーションを実践できる人材育成を趣旨とする保健医療学部設置認可申請を平成22年5月末、文部科学省宛に行い、平成22年12月末、認可されました。

新しく誕生する「保健医療学部」では、関西医療技術専門学校の優れた教育力とネットワー

クをバックボーンに、福祉の総合大学としてのスケールメリットを最大限に活かし、福祉科学と医療が一体となった学びを提供したいと考えています。

また、短期大学では、従来の保健科医療秘書コースに診療情報管理士、介護福祉士の受験資格を目指すカリキュラムを加え、新たに「医療秘書学科」「医療秘書学専攻科」として開設すべく、平成22年4月末、7月末にいずれも文部科学省宛に届出を提出し、受理されました。

新学部、新学科設置により、従来の関西福祉科学大学、関西女子短期大学の魅力がさらにアップするものと大いに期待されています。

現在は、4月のスタートに向け、最終の準備を進めております。

最後に、今回の新学部・新学科の設置は、玉手山学園の総力を結集し、成し遂げることが出来ました。ご支援、ご協力頂きました皆様にご心からお礼申し上げます。

新学部開設記念フォーラム開催

入試広報部

学園創立70周年記念事業 保健医療学部(設置認可済) 開設記念フォーラムが10月24日、御堂会館(大阪市中央区)で開催され、各講師の熱弁に会場を埋めた870名の参加者が真剣に耳を傾けました。

今回のフォーラムは、玉手山学園創立70周年記念事業の一環として、「人に優しいリハビリテーション」をテーマに実施さ

れました。最初に江端理事長から学園創立70周年を迎えるにあたり、ますますの学園の発展向上と社会への貢献を目的に、大学・短大への新学部・新学科を創設することについてのお話がありました。続いておこなわれたフォーラムでは、元阪神タイガース選手 赤星憲広氏による基調講演「人の優しさ温かさ」ケガから学んだ勇気」をはじめ、

女優の叶和貴子さんと保健医療学部長(就任予定)の渡辺先生による対談のほか、中村春基氏(社団法人日本作業療法士協会会長)と、内山靖氏(社団法人日本理学療法士協会副会長)のお二人からも、リハビリテーションに関する貴重なお話しをいただき、大盛況の内に終了しました。



第2回「たっぷりVege食べる料理コンテスト」表彰式

関西福祉科学大学福祉栄養学科

去る11月8日、第2回「たっぷりVege食べる料理コンテスト」の表彰式が行われました。今回のコンテストには72作品の応募があり、

- A. 簡便性部門(簡便性の評価が高かった料理)
- B. 食べてみたい部門(食べてみたい評価が高かった料理)
- C. 総合評価部門(総合評価の高かった料理)

の3部門に分けて審査が行わ

れ、入賞作品が決定されました。当日は、学長、副学長、福祉栄養学科長、大学事務局長から入賞者に表彰状と記念品が贈られました。また、表彰式の会場では、入賞作品を紹介した「おすすめレシピ集」が配られましたので、学生、教職員の皆様、是非一度ご家庭でお試しく下さい。最後に入賞作品の一部は学園内の食堂で販売されました。



おすすめレシピ集



表彰式

事業場内メンタルヘルス推進担当者養成講座 (アドバンスドコース)開催

EAP研究所 長見まき子

平成22年10月29日(金) 30日(土)の2日間にわたり、キャンパスポート大阪にて本学EAP研究所と医療法人あけぼの会共催の「事業場内メンタルヘルス推進担当者養成講座 アドバンスドコース」を開催しました。

本講座は本学およびあけぼの会の精神科医、法律専門家、臨床心理士など職場メンタルヘルス関連の専門家が講師となり、

社会人を対象として、基礎知識から事例検討までを体系的に教授し、企業においてメンタルヘルス推進の中心的役割を果たせる人材を養成することを目的としています。本講座の基礎コースは昨年度から開催されていますが、基礎コース修了者から、基礎コースの内容をさらに高度化・専門分化した内容の講座開催の要望が多数あり、今年度からアドバンスドコースを開催する運びとなりました。申し込みの段階で定員をオーバーするほどの人気ぶりで、当日は企業の

人事・労務担当者、産業保健スタッフなど述べ42名が全国から参加し、大変熱心な討議が行われ、社会人の学びの意欲の高さが窺えました。

今後も職場メンタルヘルス支援の人材養成に貢献すべく、引き続き定期的な開催を予定しています。



料理は科学だ(Part1)



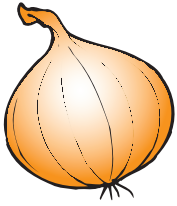
平成22年10月18日、ズームインSuper(読売TV)のなかで「料理は科学だ」が放送されました。番組には福祉栄養学科の場教授と学生が出演。

場先生は料理を楽しくするため、科学的な切り口から次のような難問を簡潔にわかりやすく解説されました。

三択です。皆さんも考えてみてください。

○玉ねぎのみじん切り、目がしみて涙がとまらなくなりやすくなるよね〜ところが、涙が出ないようにみじん切りにする方法があります！それは次の3つのうちどれ？

1. 玉ねぎを電子レンジで温める
2. 玉ねぎをお湯で温める
3. 玉ねぎを軽く火で温める



正解は 1

場先生のわかりやすい解説

・涙が出る原因は涙を出す性質をもつ酵素の働き。電子レンジで加熱することで急激に熱せられた酵素は働かなくなり、(500Wで1分)

・2.3.も加熱しますが表面だけ、短時間では内部まで熱が伝わっていませんので切り進むことにより、酵素が働きません。

・一方、電子レンジは短時間で熱が玉ねぎの内部まで伝わっていますので、切り進んでも酵素は働きません。
 ・以上から、正解は 1. です。家庭でお試してください。

場先生から補足

・サラダ等スライスする場合は冷蔵庫で冷やすのが有効。冷やすことにより酵素の働きが鈍くなります。パリっとした食感が必要なときは、こちらの方法がお勧めです。

Part 2は次号で掲載します。お楽しみに

◆ニューフェイス紹介◆

後藤 典子
 (法人本部 総務部)



この度、10月1日より法人本部総務部に勤務させて頂くことになりました。後藤典子と申します。

前職では、食品メーカーのギフト部門で営業事務をしておりました。そこで直接お客様とコミュニケーションをとる中で学んだことは、ギフトを贈りたいと依頼されるお客様は、送り先の相手に、必ず感謝の気持ちをもっているということでした。

勤務させて頂いたから2か月ほど経ちましたが、「人を育む」本学園で働かせていただいているということとても喜びを感じ、また人や社会に貢献できることにとても感謝しています。私自身、まだまだ未熟ですが、今後は今まで培ってきた事を生かし、さらに成長していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

人事異動

(平成22年10月〜平成23年1月)

○法人本部

(採用) 別掲

○大学事務局入試広報部

(異動) 小出 麻里子



編集後記

○あけましておめでとうございませう。今年の干支は「うさぎ」です。さて過去のうさぎ年はどんな年だったのでしょうか。ふりかえってみましょう。

○1999(平成11)年は欧州統一通貨「ユーロ」の導入が発表され、国内では国旗・国歌法が成立しました。1987(昭和62)年は国鉄が民営化され、JRがスタートしました。また、地価の高騰がピークに達しましたが、秋にはニューヨーク株式市場で大暴落が起り、バブルがはじけました。1975(昭和50)年はベトナム戦争が終結、沖縄海洋博が開催され、山陽新幹線が博多まで延長されました。

○こうしてみると歴史に残るようなできごとがたくさん起きています。さて今年はどうなるのでしょうか。干支のうさぎのように飛躍の年にしたいものです。

■玉手山学園広報

発行 法人本部
 No.65平成23年1月10日発行
 昭和63年4月12日No.1発行
 学校法人 玉手山学園
 関西福祉科学大学
 関西女子短期大学
 関西福祉科学大学高等学校
 関西女子短期大学
 関西福祉科学大学
 関西女子短期大学
 関西女子短期大学
 関西女子短期大学
 〒582-0026大阪府柏原市旭ヶ丘三丁目土番号
 電話(072)978-1661番
 FAX(072)978-1877番
<http://www.houjintuhsi-kagaku.ac.jp>